

鶴見区こども青少年元気支援事業

# つるみ元気塾 ほっとりんく

約 束



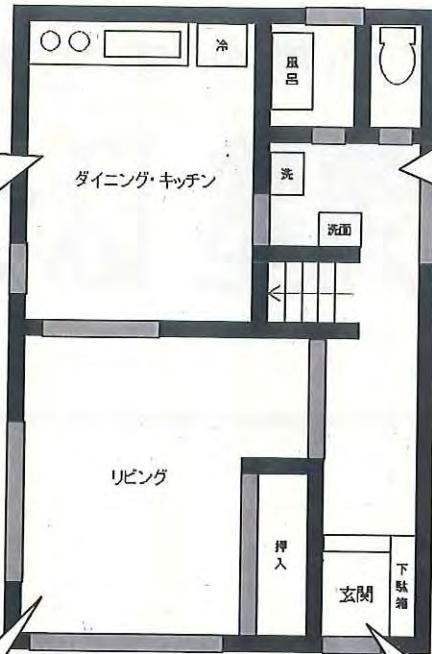
- **ほっと・・・Hot, ホット**
  - ・こどもたちの心がホッとできるように
  - ・ぬくもり溢れる、あたたかな雰囲気
  - ・保護者にとって、実家のようなホッとする役割を
- **りんく・・・link(つなぐ、絆、輪)**
  - ・人や社会や地域とのつながりを持つ
  - ・友達や仲間とのきずなを大切にする

そんな想いを込めました。

# 1階



<ダイニング・キッチン>  
おやつ作りや調理実習などを行います。目標は、利用する子たちだけでご飯を作ること。



<お風呂・洗面所・トイレ>  
身体の洗い方、歯のみがき方、用のたし方など日常生活習慣について学びます。



<リビング>  
ソファを出してくつろいだり、机を出して作業をしたり、多目的に使う部屋です。



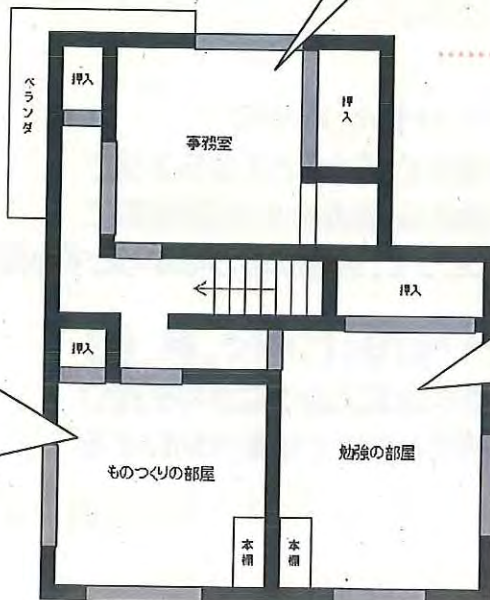
<玄関>  
とても広々としていて、たくさんの人が来ても大丈夫です。

# 2階

<事務室>  
空間を仕切り、面談を行えるようにしています。



<ものつくりの部屋>  
工作、絵を描くなど作業を行う部屋です。



<勉強の部屋>  
学校の宿題や通知の確認、読み聞かせなどをします。



# 鶴見区 こども青少年元気支援事業

## つるみ元気塾

家庭環境等により支援を必要とする小中学生が、夢を持ち自立した生活を送れるように、より家庭的な場所で、習慣を整え、学校生活を円滑に送るための支援などを行います。

### ■ つるみ元気塾とは？

- 対象者は？  
家庭環境等により支援を必要とする小中学生
- 何をするの？  
学校生活を円滑に送るため、学習や生活体験を行います。
- 誰がするの？  
特定非営利活動法人 あしほが、鶴見区の委託を受けて運営します。
- どこで？  
鶴見区本町通三丁目（一戸建て、80.5 平米）
- いつから？  
平成25年1月29日（火）
- いつもやっているの？  
月～金の5日間で、子どもたちは学校が終わったあとに利用します。
- 毎日通えるの？  
1人の子どもにつき週に3日までで、相談して決めます。
- 指導員はどのくらいいるの？  
常時2名以上
- お金はかかるの？  
施設利用は無料ですが、おやつ代・食事代・交通費などの実費負担はあります。
- 学校との関係は？  
小・中学校などの関係機関と十分連携を取ります。



特定非営利活動法人 あしほ  
横浜市鶴見区鶴見中央 4-15-2 2F  
電話 045-506-1166  
Email : ashiho@poem.ocn.ne.jp  
担当：須田・角田

## 事業目的

- ・ 生き抜く力を身につけ、将来にわたり自立した生活を送れるようになる。
- ・ 学習・生活の支援を行い、円滑な学校生活を送れるようになる。
- ・ 子どもの変化を促すよう、いい環境での生活のための支援をする。

## 事業・支援内容

- 生活習慣** 挨拶や礼儀、身だしなみを習慣づける  
手洗い、うがい、入浴、洗濯等で清潔を保つための習慣を学ぶ  
食育を取り入れ、食事やおやつ作りをスタッフと一緒にしておこない、  
生活の基盤となる食事の大切さを学ぶ  
コミュニケーション能力を高め、他者との関わりをスムーズにする
- 
- 学校生活** 地域の会員のサポートにより、必要に応じて家庭から学校まで同行する。  
教員経験者や大学生・高校生のボランティアに依頼し、宿題や予習・復習など  
学習の習慣と学力を身につける  
学校からの通知を理解し、必要な準備ができるようにする  
体操やゲームで健康的に身体を動かすことを体験する  
本の読み聞かせや、読書などにより語彙を増やし情操を養う
- 
- 生活体験** 掃除やごみの分別、買い物、洗濯等、日常生活に不可欠な家事を体験する。  
正月、ひな祭り、こどもの日、クリスマスなどの季節行事を自分たちで計画し  
実施する。  
地域イベントに参加し、地域住民とのふれあいを通して、地域の一員である  
経験をする。  
野外体験や団体行動を通して、社会のルールやマナーを学ぶ

